

どんな場面でも素直に取り組む子

加藤利晴

はじめに

A男は、本校中学部から連絡入学した当初、高等部全体やクラスの中でも黙って見ているだけで、友だちに対して関わろうとすることがあまり見られなかった。新しいことには、なかなか意欲的に活動ができない。教師が何か指示した時とか友だちが問い返した時には、黙り込んでしまったり無視してその場を離れてしまったりすることがあった。

このようなA男に対して、特定の大人に対してだけでなく、特に同年代の友だちとの関わりを大切に、自分の思いを表現したり、働きかけたりできるよう、人間関係を広げていきたい。どんな場面でも、たとえ注意や指導を受ける場面でも、素直に耳を傾け、前向きに取り組む態度を身に付けさせることが必要である。

1. プロフィール

(1) 生育歴

- ・昭和53年4月12日生 16歳10ヶ月 高等部1年 男子
- ・ダウン症候群 出生後、鎖肛の手術を受ける。
- ・J保育所にて3年保育
- ・J小学校普通学級に入学 1年時に先天性心臓病の手術を受ける。2年時より心障学級に入級
- ・平成3年度本校中学部に入学 平成6年度本校高等部に連絡入学
- ・家族は両親と妹(小5)の4人。母親は教育熱心で協力的である。小学生の時から家庭教師を頼み、本生徒に様々な体験をさせている。

(2) 諸検査による実態

① 知能検査による実態

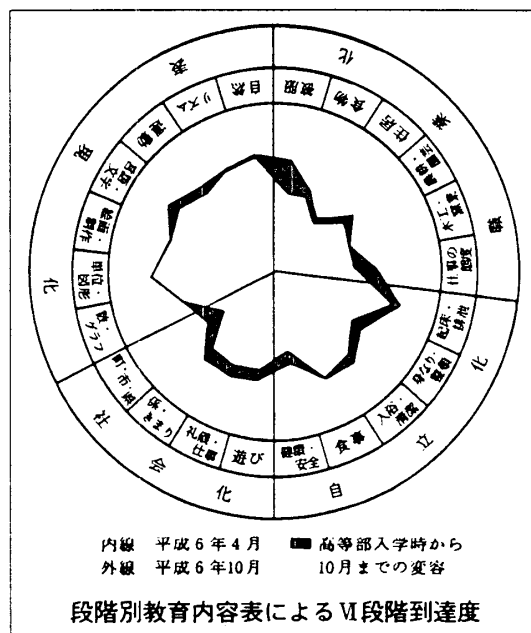
WISC-R(平成6年4月実施) IQ40以下

② 社会生活能力検査による実態

S-M社会生活能力検査(平成6年5月実施) 社会生活年齢5歳7ヶ月

(3) 行動特性

- ・自分なりのペースであるが、決められたことには熱心に取り組む。
- ・既に経験したことのある活動であればかなり意欲的に行動をする。



- ・新しいことにはなかなか取り組めないことが多く、自分から活動しようとしなない。
- ・他の生徒の行動を見てから行動を起こすことが多く、取り組むのに時間がかかる。
- ・友だちに注意されると腹を立てたり、悪口を言ったりすることが多い。
- ・ボール運動など身体を動かすことを好むが、誘うことができず一人で運動していることが多い。
- ・高所・階段の段差を怖がり、手すりなど支えるものがないと動けない。

(4) コミュニケーションの実態

- ・教師が関われば、理解した内容を意思表示したり行動したりすることができる。
- ・下を向いていることが多く、相手を見てうなずいたり、対話をすることができない。
- ・「がんばりました」「たのしかった」「うれしかった」「すきです」という表現が多く、きちんと対応した表現にならない。
- ・発音が不明瞭でわかりにくい。

2. 取り組みの構想

(1) 指導仮説

〈個人目標〉 どんな場所でも素直に取り組む子

〈つきたい力〉 ・内容の理解 ・聞こうとする意欲・態度 ・発声や発語 ・感情の表出・表情

—— コミュニケーションに視点を当てた取り組み ——

—— 〈コミュニケーションの目標〉 ——

相手の目を見て応答する子

—— 仮 説 ——

話すことに抵抗があるだけでなく、言葉が不明瞭で言ったことが相手にうまく伝わらず、会話に発展しにくい。そこで、自分なりの言葉で表現しようとする意欲・態度と表現するための技能をつける必要がある。発声や発語の訓練と日常生活の場につながる具体的な体験活動を設定し繰り返し取り組んでいけばよいのではないかと考えた。また、指摘を受けると黙り込んでしまったり無視してその場を離れてしまうことがある。まず、話し相手に対して、顔を上げ相手の方を向いて応答する態度づくり、注意を受けたことを認め「すみませんでした」と謝ることから取り組んでいくことにした。職業（受注コース）では不慣れた仕事にはなかなか集中して取り組めないで、不良品を出さないように、ていねいに作業をするように声掛けをする。

—— その他の取り組み ——

朝の活動では、腹背筋を強化すること、運動量を確保することをめあてに20分間早歩き、腹筋運動、腕立て伏せの姿勢保持などの課題別トレーニングを実施する。給食時には、下を向いて食べる人が多いので、食べる姿勢について前を向いて食べることや食器を必ず持って食べることなど声掛けをする。

(2) 指導方針

- ① 意思表示をしなかったり行動に移せなかった時は見逃さずに指導する。賞賛ばかりでなく、正当な評価を与え、自分の像を常に意識させる。

- ② 具体的に短い言い方などを提示して発言のきっかけとさせたり、話すことに慣れさせる。朝の会、帰りの会、学活の意思表示や輪番のスピーチなどで困ったときには具体的な言い方を提示する。
- ③ 顔を上げ相手の方を向いて応答しようとする態度をつける。顔を上げないときには、「顔を見てください。」と促す。
- ④ 言語養訓として自分なりの言葉で表現しようとする意欲と表現するための技能をつける。言語相談や課題学習で「口の体操」「あごの運動」「舌の運動」を行う。

3. 指導の実際

(1) 生活一般での実践例《自分のことを考えよう》

学習中のA男は、話すことに抵抗があり、自分から発表することがあまり見られなかった。「自分のことを考えよう」という学習では、友だちの長所を見つけ、認め合う態度を育てること。自分の短所を知り、直そうという気持ちを持たせることにねらいをおき学習した。2学期にも同じようなやり方で学習を展開した。自分のペースでないと行動できないA男は、学習で使用したプリントには、1学期より少しずつ自分の考えを表現できるようになった。

できること、得意なことについては、「ふろそうじをしています。おしるをつくっています。おとうさんのおてつだいをしています。」などと表現することが見られ始めた。家でも手伝いを自主的にやっている様子を窺わせている。しかし、できないことについては、「会社（で）おてつだいをしています。にもつをしています。しごとをしました。シ（ー）ルはりをしています。」というように、したこと、できることを表現するにとどまっており、まだできないことについては、何ができないか十分な認識がみられていない。



自分の考えを書くA男

。「将来どうしたいか」について、4月には、「大学に行きます」ということにこだわりが強く何回も言うことが多かったが、「日ダンに行きます」と具体的な事業所名を発表するようになってきた。他の生徒が発表していく中でA男が自発的に発表できるように、待ちの姿勢をとった。顔を上げないことが多く、時間中、何回か「顔を見なさい。」と促した。全般的に、自分のことについては把握できていない面が多く、したがって発表のできない場面が見られたが、文字による記述の量が増えてきた。家庭でも、母親宛てに今日した行動などをメモ書きすることがみられるようになった。

(2) 課題学習での実践例

A男は話すことに抵抗があるだけでなく、言語も不明瞭でせつかく言ってもうまく伝わらず問い返されたりすることから、ますます話したからなくなっている面もある。構音検査では、発声発語器官の全般的な低下が見られた。(特に舌、軟口蓋)そこで、課題学習の中に言語養訓として「口の運動」「言葉の体操」「発声練習」「音読練習」などの言語メニューを取り入れた。次に言語メニューの一部

を挙げる。

◎だいたい正しく発音できた。 ●正しく発音できなかった。

◎た	●あめ	◎ドア	◎しろ	●なだれ	●もちつき	●かざぐるま
◎さ	●えび	◎かお	◎ひよこ	●ぎゅうにゅう	●いわやま	●パトロールカー
◎ら	◎いえ	◎ガム	◎ほん	●りょうり	◎じゃがいも	●サンタクロース
◎らだ	◎うま	◎ねこ	◎つえ	◎さとう	●しゃぼんだま	●ひょうぎいん
◎たい	◎バス	◎わに	◎チーズ	◎じかん	●たから	●ラジオ
●がだ	●ばたか					

言語相談の時、フリートーク中の話題をきっかけに、A男はどんどん自己中心的に自宅付近の地図を大ざっぱに書いていた。ぶつぶつと独言が多く、コンタクトがとりづらい状態であった。

ここでは、リラックスした自由な雰囲気を作ることと自主的な取り組みとなるような態度を作り、発声や発語の訓練に取り組んでいった。上の表で見られるように、「た」「さ」「いえ」「うま」などのように一音、二音ではだいたい正しく発音できるが、「かざぐるま」「パトロールカー」などのように二語以上の複合語になると正しく



カラオケを歌うA男

発音できない。また、A男は発声持続時間がかなり短い。今後、言語クニューに発声時間を長くする活動と、できるだけ良い姿勢でゆっくりと音読する活動を取り入れていく必要がある。

4. 考察及び今後の課題

4月当初、職業に対する意欲・態度、なかでも仕事の態度の到達度が低く、A男の課題であった。高等部に慣れるにしたがって、未経験の分野や領域が少なくなり、自分のペースは崩さないが少しずつ意欲が見られてきたことは成長したところと考えられる。しかし、関心が自分のまわりの世界にとどまっており、集団への参加意欲が乏しく、他との関わり、コミュニケーションの意欲・態度・技能などの力をつける必要があることを示している。「信頼関係を結んだ特定の大人との1対1の関わりの中ではかなり豊かなやりとりや意欲的な活動ができる」A男ではあるが、クラスの中で友だちとの豊かな関わりを持ち、自分から思っていることを表現したり働きかけたりできること、どんな場面でも、たとえ注意や指導を受ける場面でも、素直に聞く態度を身に付けることなどたくさんの課題をクリアしていくためには、試行錯誤によって、自分の行動を省みる中で身に付けていくことができると考える。A男にはマイペースだが仕事を一生懸命する姿がみえてきた。自分の不都合なことから逃げ出しがちなA男に対してはもっと長い目で見ていく必要があるように思う。